



2018年 3月期 第3四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社
<https://www.teac.co.jp/jp/>
証券コード6803

2018年2月9日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第3四半期決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	12,584	12,291	▲ 293
個別開示項目前営業利益（▲損失）	▲ 524	▲ 186	+ 338
営業利益（▲損失）	▲ 444	▲ 257	+ 187
親会社の所有者に帰属する四半期利益（▲損失）	▲ 835	▲ 403	+ 432
資本合計	46	457	+ 411

■ 売上収益

- 情報機器は増収であるものの、音響機器の減収により全体として減収

■ 営業利益

- 業績改善のための固定費削減施策により、販売費及び一般管理費は前年同期より5.5億円減少し、個別開示項目前営業損失は改善
- 固定費削減施策のひとつである希望退職の実施に伴う特別退職金を計上したものの、希望退職者の退職給付債務の清算に伴う利益により、営業利益は前年同期から改善

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

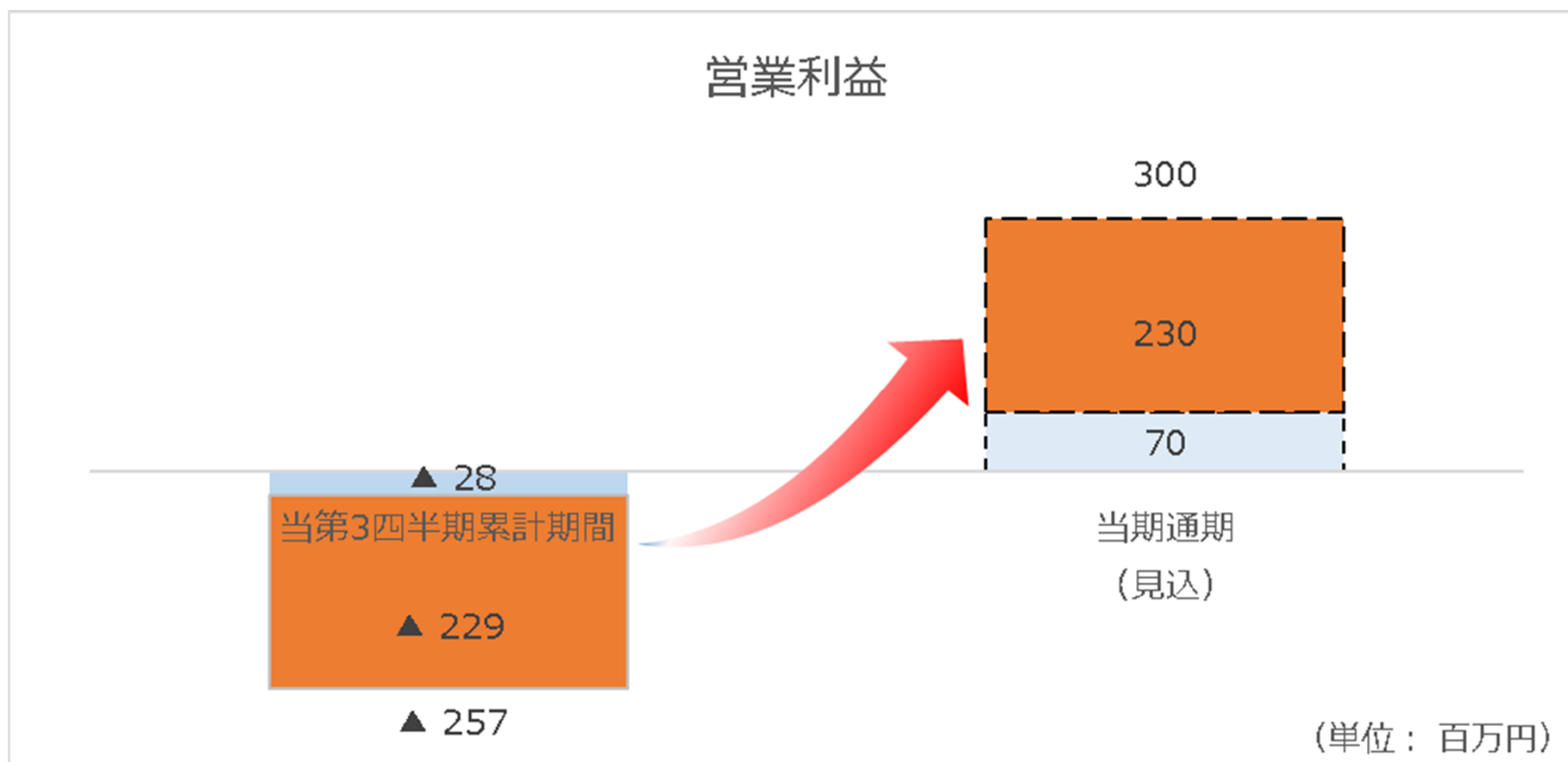
- 営業利益の改善、金融費用純額の減少により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は改善し、第3四半期（10月から12月）で黒字化

■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に0.5億円であった資本合計（純資産）は当第3四半期連結会計期間末は4.6億円と増加

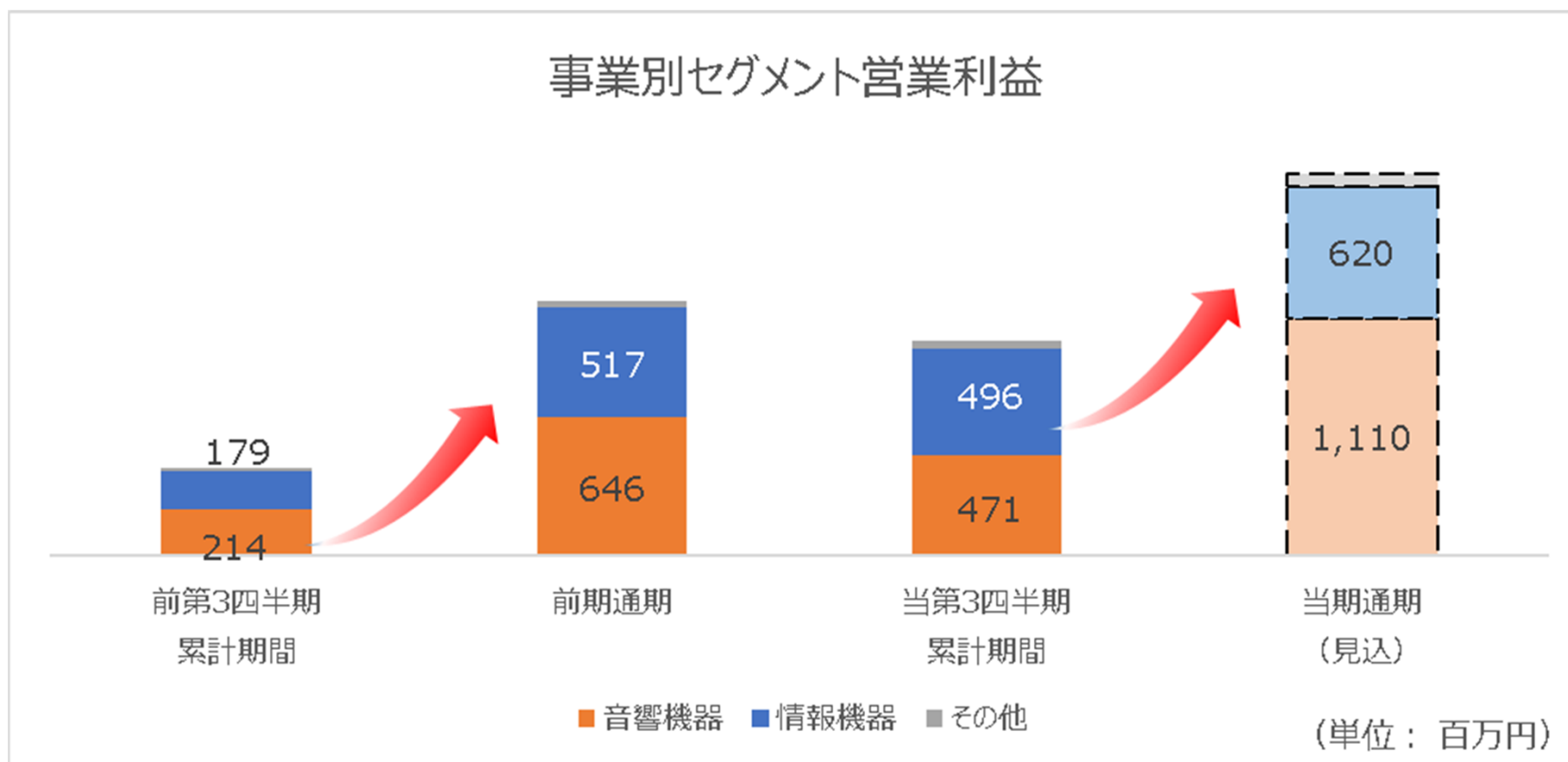
営業利益 四半期推移見込

第2四半期連結累計期間に、希望退職の実施に伴う特別退職金（229百万円の損失）、希望退職者の退職給付債務の清算益（158百万円の利益）を計上
第3四半期連結会計期間以降、引き続き希望退職による固定費削減効果の発現により
通期では特別退職金の吸収、黒字化を見込む



事業別セグメント営業利益

第2四半期連結累計期間での改善に加え、
第3四半期連結会計期間以降も希望退職実施効果、その他の固定費削減
効果にて、通期では各事業セグメントで増益を見込む



トピックス 1

■ 一般オーディオ機器

株式会社音元出版様主催で実施されました「VGP 2018」において、以下の製品が各賞を受賞しました。VGPとは、オーディオビジュアル機器の魅力を熟知した評論家と全国の有力販売店の投票によって、今季の最優秀プロダクトが選ばれる、国内最大級を誇るアワードです。

ティアックでは、11月に発表した『UD-505』がデスクトップオーディオ大賞、9月に発売した『TN-400BT』がコンセプト賞を、それぞれ受賞いたしました。



デスクトップオーディオ大賞
DAC/DDC(10万円以上25万円未満)
USB DAC/ヘッドホンアンプ 『UD-505』



オーディオインターフェース/クロックジェネレーター
クロックジェネレーター(50万円以下)
マスタークロックジェネレーター 『CG-10M』



コンセプト賞 アナログレコードプレーヤー
アナログレコードプレーヤー (10万円未満)
Bluetooth®トランスミッター搭載 アナログターンテーブル 『TN-400BT』



受賞



金賞



コンセプト賞



アナログレコードプレーヤー (10万円未満)
アナログレコードプレーヤー
アナログターンテーブル 『TN-550』

トピックス 2

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器



独Sennheiser社とパートナーシップを締結し、Ambeo VR micなどのアンビソニックス音声収録に対応した『DR-701D』の新ファームウェアV2.00の無料ダウンロードを2017年12月より開始いたしました。

TASCAM  **SENNHEISER**

「我々ゼンハイザーは、ティアック株式会社がAMBEO VRパートナーシッププログラムに参画されることを心より歓迎いたします。また、世界各地のコンテンツクリエイターから高い評価を得ているTASCAM『DR-701D』を、パートナーとして迎えられることを誇りに思います。その『DR-701D』の最新ファームウェアにより、AMBEO VRマイクでのA/B Formatのアンビソニックス録音に完全に対応いたしました。」(ゼンハイザー株式会社AMBEO Immersive Audio Co-Director Véronique Larcher)

「映像制作の現場においても、多くのユーザーの皆様にご支持頂いております『DR-701D』が、この度新たにアンビソニックス音声の収録に対応致しました。長年、放送局や録音スタジオなど、プロの現場の収録を支えてきたTASCAMが、Sennheiser AMBEOとのパートナーシップを通して、目覚ましい成長を続けるVRコンテンツ制作の現場に、より便利なソリューションを提供できますことを大変誇りに思います。」(ティアック株式会社代表取締役社長CEO 英 裕治)

トピックス 3

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器



Dante™

アナログ/Danteコンバーター『ML-32D』

アナログ/Danteコンバーター『ML-32D』を2017年12月に発表いたしました。

『ML-32D』は1Uのコンパクトなサイズで32チャンネル アナログライン入力/出力信号をDanteに変換するコンバーターです。Danteは近年、設備用途、PA、放送局等で利用が広がっており、TASCAMでは今まで培ったアナログ、デジタルの技術を投入した新しいカテゴリーの製品になります。

■ 高級オーディオ機器

2016年10月に発売を開始して以来ご好評いただいております『grandioso K1』と『grandioso F1』が音元出版のオーディオ銘機 2018 の製品特別大賞を受賞いたしました。これまでESOTERIC が培ってきた技術を注ぎ込んだ grandioso シリーズは、トランスポートや DAC、プリ/パワーアンプといった、セパレートシステムを販売して参りました。『grandioso K1』と『grandioso F1』は、それらすべての技術を結集した一体型プレーヤーとプリメインアンプです。



SACD Player 『grandioso K1』

Integrated Amplifier 『grandioso F1』